

株式会社ジェイコムイースト 群馬局

平成 24 年度 放送番組審議会 概要

平成 24 年度の放送番組審議会は 2012 年 11 月 30 日(金)に群馬局で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

石 井 学 様 前 田 勇 様 小 澤 由 宏 様
鈴 木 繁 男 様 竹 中 三 郎 様 時 澤 常 雄 様

ご欠席 (委任)

長 塩 英 雄 様 高 浦 亮 様

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】

(取材対象の取り上げ方)

委員 番組制作のスタッフが大変努力していることがわかった。要望として「高崎まつり」の取り上げ方を例にとると、これからは当日だけではなく、始まるまでの流れや準備段階の様子も取材してほしいと思う。自分も J:COM のファンのひとりであるので協力をしていきたい。どんなことでもこれでいいということはないので、従来以上の番組作りに期待している。加入数が増えているのはすばらしい。「こんなところまで取材に来てくれた」というように、地域の人たちの事業等を取り上げていくことが加入数拡大のきっかけとなる。どんどん裾野をひろげて行ってほしい。

(取材依頼の割合)

委員 報告や説明、映像はとても参考になった。多くの人を画面に出していただいていることがわかった。今後もできるだけ多くの人を取材して行ってほしい。

先方から取材依頼がある場合とメディアセンターで探す場合との割合はどのぐらいなのかを伺いたい。取材を受けた人は J:COM のファンになるので、地域の人たちから幅広く支持を受けられ、それによって経営がよくなればよいと思う。

事業者 3~4 割は取材依頼があり、6 割以上がこちらで取材先を探している。依頼があればスケジュールが重複しない限り、できるだけ対応するようにしている。もっと情報を寄せていただき地域のメディアとして活用していただきたいと思っている。

(番組内容)

委員 番組は家族がいつも見ている。内容はますますよくなってきていると感じる。さっそく番組ダイジェスト映像で紹介のあったお店に行って料理を食べてみたくなった。

(音楽のある街の取材)

委員 現状は地域の名所や名物の特集が多いように思う。高崎市は「音楽のある街」として力を入れていて、クラシックに興味がある人も多いと聞いている。有名な演奏家も来ているが、コンサート会場では客席に空きがある状況である。J:COM で取材してもっとPRして盛り上げてほしい。

事業者 演奏者の肖像権などをクリアしなければいけないが、報道という名目では 3 分間は映像の使用を認められている。今後は先方の担当者の協力を得て、特集が組めるようにしていきたい。

(J:COM への期待)

委員 残念ながら市内には音楽用の大きな施設がない。「音楽のある街」のイメージアップとして、東口に建設できるよう行政も努力しているようである。J:COM もより以上に期待されてくると思う。

(弁護士会や司法書士会への協力)

委員 いじめ等の教育問題、自死(自殺)問題への関心、高齢者の資産管理に関しての「成年後見制度」の周知等を映像にすると関心が高まると思う。今後、弁護士会や司法書士会の協力をしていただければありがたい。

事業者 地域内の取材対象を常に探している。情報をもっといただいて番組制作に活かしたい。本日はたくさんの貴重なご意見を頂戴した。今後も積極的に取り組んでいきたい。

以上